

キャラクター名
逆巻 名嘉 (さかまき なき)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル エンジェルハイロウ		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	風来坊
	オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	吸血		初期侵食率	38 %
出自	待ち望まれていた子	経験	空白期間		邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	17
感覚	4	1	3			8	(非装備時)	17
精神	1	0	0			1	戦闘移動	22
社会	1	0	0			1	全力移動	44

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:	1		情報: UGN	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
リッパ〜パ〜ティ〜 (範囲)	射撃	16r+4		6		C値8 コスト11
↑の100%以上	射撃	19r+4		8		上に同じく
リッパ〜パ〜タンス (単体)	射撃	16r+4		16		C値8 コスト8 (カバ:エグザイル) + (カバ:ガ) + (小さな塵) + (天からの目)
↑の100%以上	射撃	19r+4		18		上に同じく

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
秘密兵器: ブレイドバレット	
コネ: 要人への貸し	
ウェア: ガース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 秘密兵器P		N		
シナリオロイス: 匂坂蒼P	恋慕	N 疎外感		
伊庭宗一	P 憧憬	N 恐怖		
綺羅里	P 尊敬	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンソレイト: エグザイル	2	2	Xジャー					
効果:	C値-Lv							
オールレンジ	5	2	Xジャー			射撃		
効果:	判定ダイス+Lv個							
小さな塵	5	2	Xジャー			射撃		
効果:	攻撃力Lv*2							
異形の祭典	5	3	Xジャー		Lv+1体	シンドローム		
効果:	攻撃対象Lv+1体 攻撃力-10							
天からの目	3	2	Xジャー		自身	射撃		
効果:	判定ダイス+Lv個							
壁に耳あり	5	2	Xジャー					
効果:	<情報: ●●>判定時ダイス [Lv+1個]							
鍵いらすの歩み	1							
効果:	ドアの隙間などを通り抜けるエフェクト							
真昼の星	1							
効果:								
天使の外套	1							
効果:								
マーキング	1		Xジャー	至近	効果参照	自動		
効果:	現在地or物品一つに対してオーヴァードの存在を示すマークを付けられる。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

K市内でうろちょろしていたところをワーディング内で倒れていない子供として発見され保護された。学校嫌いですぐに抜け出してしまうので、支部の中で基礎知識だけ(無理矢理)教わっている。本人は嫌そう基本的に自由人で気まぐれ。自分が気に入った人のことしか聞かない。武力行使には弱いモヤシ。両親を伊庭宗一に殺されているが周りからは特に気にしている風には見えない。「伊庭? あーうんそうだねー憎いかもねー」

●個人的メモ
匂坂 蒼について
呼称: 蒼君、蒼さん、蒼をその場によって使い分け
名嘉の教育者(?) 脅されつつ勉強してる(場合が多い)
勉強を強制されるのは嫌いだけど一緒にいるのは楽しいしご褒美ちゃんとくれるから好き。

支部長について
呼称: 支部長
歳が近いのにしっかりしていて凄いなーと。お姉ちゃんみたいな感じ
支部自体が家族みたいな存在なので大切な人。

過去について
とある平凡な家族の第二子として生まれた。
母親のほうが女の子が欲しかったらしく生まれた時はたいそう喜んだ。
しかし、上の兄弟の影響が好きなのは男の子が好きなのが多かったが母親には与えてもらえなかった。
父親は仕事であまり家にはおらず、既に顔は忘れてしまっている。しいて言うなら兄が父親のような存在であった。
そんな中、伊庭宗一が逆巻家を襲撃。理由は不明(考えてない)だがその付近一帯の複数を襲撃していた中の一軒が名嘉の家であった。